



平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社 フジコー

上場取引所 東

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐藤 陵枝

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	899	10.7	82	35.6	71	33.8	48	27.3
29年6月期第1四半期	1,006	59.1	127	231.4	108	225.7	67	398.3

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 48百万円 (43.6%) 29年6月期第1四半期 86百万円 (832.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	10.76	
29年6月期第1四半期	16.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	6,289	2,139	34.0
29年6月期	6,405	2,329	33.4

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 2,139百万円 29年6月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		6.00		6.00	12.00
30年6月期					
30年6月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,830	5.4	180	21.9	160	20.5	105	15.2	23.12
通期	3,600	7.0	340	48.6	300	66.2	200	139.8	44.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	4,541,000 株	29年6月期	4,541,000 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	123 株	29年6月期	123 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	4,540,877 株	29年6月期1Q	4,107,543 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における取り組みとして、法令順守体制の強化に努めてまいりました。全ての事業活動において、法令順守の徹底を目的とした組織運営を進め、関係機関との連携を図り、一層の体制強化に注力してまいりました。リサイクル事業につきましては、受入時のサービス向上と安全・安心な処分事業の構築に注力する事により、皆様からの信頼回復への取り組みを推進してまいりました。建設系リサイクル事業においては、安定稼働による効率的な受入体制を構築し、受入時のサービス向上を目指すとともに、新築工事、リフォーム工事から発生する廃棄物の収集運搬事業の受注拡大に努めてまいりました。食品系リサイクル事業においては、液状化飼料の販売拡大、白蟻解体工事においては、受注拡大、森林発電事業においては、電力小売事業の拡大とあわせ発電施設の安定稼働と発電燃料となる木材の安定調達に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は899百万円（前年同期比10.7%減）となりました。売上原価は754百万円（前年同期比5.9%減）となり、リサイクル事業及び白蟻解体工事においては外注費及び維持管理費が前年同期比で減少しております。森林発電事業は木材仕入費及び人件費が前年同期比で増加しております。売上総利益は144百万円（前年同期比29.2%減）となりました。計画比では売上高が21百万円、売上総利益が7百万円の未達となっております。

販売費及び一般管理費は62百万円（前年同期比18.6%減）となり、営業利益は82百万円（前年同期比35.6%減）となりました。営業外費用における支払手数料及び支払利息が減少した結果、経常利益は71百万円（前年同期比33.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、引き続き受入数量と外注委託数量のバランスを考慮しつつ、受入時のスムーズな荷下ろし等のサービス向上と受入後は効率的な処分による稼働率の向上に向けた改善に注力する事により、外注委託数量の減少を進めてまいりました。全般的な受入数量は、発電施設の法定点検及び焼却施設の補修工事等により若干減少しておりますが、第1四半期の新規取引先件数は44件となり、非建設系廃棄物の受入拡大を含め、安定稼働に努めております。発電施設の売電数量は、法定点検を実施した影響により減少しております。また、事業停止の影響により新築工事現場からの収集運搬事業等が大幅に減少しており、売上高で約56百万円減の影響額となっております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は398百万円（前年同期比19.4%減）、売上原価は347百万円（前年同期比9.4%減）となった結果、売上総利益は50百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

②食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売拡大に向け、新規契約先の開拓に注力してまいりました。再資源化センターでの合計受入数量は前年同期比で12.9%減少するとともに、販売先の肥育頭数の減少等により、液状化飼料の販売数量は20.9%減少しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、養豚事業を譲渡したこと等により42百万円（前年同期比31.9%減）、売上原価は38百万円（前年同期比28.5%減）となった結果、売上総利益は4百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

③白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては安定受注に努めた結果、計画通り推移しておりますが、前期に大型工事が完了したため、売上高が前年同期比で23.7%減少しております。また、白蟻工事は新築工事、既存工事ともに件数が減少しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は58百万円（前年同期比20.9%減）、売上原価は55百万円（前年同期比12.0%減）となった結果、売上総利益は3百万円（前年同期比72.0%減）となりました。

④森林発電事業

森林発電事業は、発電燃料となる木材購入が当初から計画しておりました原木に加え、発電施設近隣の製材工場から発生する背板の受入数量が増加しております。現在は発電施設敷地内を含め5ヶ所の貯木場を設けておりますが、原木等のより一層の含水率の低減に向け、新たな貯木場の設置を検討しております。燃料加工及び発電につきましては概ね計画通り推移しております。地域関係者の方々との協議を進め、継続的に安定した木材調達に注力してまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は399百万円（前年同期比6.4%増）、売上原価は313百万円（前年同期比3.8%増）、売上総利益は86百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて116百万円減少し、6,289百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、(株)一戸フォレストパワー優先株式の追加取得等により現預金が減少したため、前連結会計年度末に比べて55百万円減少し、1,600百万円となりました。固定資産については、減価償却等により前連結会計年度末に比べて60百万円減少し、4,688百万円となりました。

流動負債については銀行借入等により、前連結会計年度末に比べて66百万円増加し、1,242百万円となりました。固定負債については前連結会計年度末に比べて8百万円増加し、2,907百万円となりました。

純資産については、(株)一戸フォレストパワー優先株式の追加取得等により、前連結会計年度末に比べて190百万円減少し、2,139百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、建設系リサイクル事業において焼却施設の受入制限等により計画を下回るとともに、森林発電事業についても使用燃料の構成比が変動したことにより、計画比で未達となっております。売上原価につきましては、外注費用及び維持管理費等が計画を下回っております。今後は既存事業の収益改善を見込むとともに、森林発電事業の安定稼働、電力小売事業の拡大に努めてまいります。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	899	1,006	△107	921	△21
売上原価	754	802	△47	769	△14
売上総利益	144	204	△59	152	△7
販売管理費	62	76	△14	64	△1
営業利益	82	127	△45	88	△5

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,548	714,176
売掛金	406,932	441,480
たな卸資産	297,025	281,474
その他	174,396	164,091
貸倒引当金	△640	△541
流動資産合計	1,656,263	1,600,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,849,529	2,865,126
減価償却累計額	△926,671	△950,170
建物及び構築物(純額)	1,922,857	1,914,956
機械装置及び運搬具	4,538,427	4,541,186
減価償却累計額	△2,258,164	△2,340,858
機械装置及び運搬具(純額)	2,280,263	2,200,328
土地	271,166	271,166
その他	40,499	42,206
減価償却累計額	△33,093	△33,701
その他(純額)	7,406	8,505
有形固定資産合計	4,481,694	4,394,956
無形固定資産	14,373	16,420
投資その他の資産		
投資その他の資産	253,335	277,133
貸倒引当金	△3	-
投資その他の資産合計	253,332	277,133
固定資産合計	4,749,400	4,688,509
資産合計	6,405,663	6,289,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,068	258,263
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	502,211	555,192
未払法人税等	36,457	20,964
賞与引当金	-	25,537
その他	206,736	182,776
流動負債合計	1,176,474	1,242,735
固定負債		
長期借入金	2,623,712	2,644,478
資産除去債務	109,624	109,700
その他	165,894	153,113
固定負債合計	2,899,231	2,907,292
負債合計	4,075,706	4,150,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	718,861	694,539
利益剰余金	793,182	814,810
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,141,857	2,139,163
非支配株主持分	188,099	-
純資産合計	2,329,957	2,139,163
負債純資産合計	6,405,663	6,289,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,006,608	899,382
売上原価	802,346	754,831
売上総利益	204,262	144,551
販売費及び一般管理費	76,464	62,235
営業利益	127,798	82,315
営業外収益		
受取利息	5	16
受取家賃	1,950	-
その他	915	472
営業外収益合計	2,871	488
営業外費用		
支払利息	9,769	8,394
支払手数料	2,587	2,441
株式交付費	8,219	-
その他	1,824	280
営業外費用合計	22,400	11,116
経常利益	108,269	71,687
特別利益		
固定資産売却益	92	815
特別利益合計	92	815
特別損失		
固定資産除却損	1,063	2,010
特別損失合計	1,063	2,010
税金等調整前四半期純利益	107,298	70,493
法人税、住民税及び事業税	15,883	13,068
法人税等調整額	4,795	8,552
法人税等合計	20,678	21,620
四半期純利益	86,619	48,872
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,424	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,195	48,872

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	86,619	48,872
四半期包括利益	86,619	48,872
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,195	48,872
非支配株主に係る四半期包括利益	19,424	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	493,630	62,937	74,278	375,761	1,006,608	-	1,006,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	493,630	62,937	74,278	375,761	1,006,608	-	1,006,608
セグメント利益	109,621	9,578	10,992	63,925	194,117	△66,318	127,798

(注) 1. セグメント利益の調整額66,318千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	398,056	42,836	58,741	399,748	899,382	-	899,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	398,056	42,836	58,741	399,748	899,382	-	899,382
セグメント利益	50,179	4,702	3,075	82,921	140,879	△58,564	82,315

(注) 1. セグメント利益の調整額58,564千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。